



加納ご当地 キャラクター ついに誕生！！

今や日本全国各地で増えつつあるご当地キャラクターが、ついにこの加納の地に誕生しました。

滋賀県彦根市でかの有名な「ひこにゃん」が登場して以来、ご当地キャラクターが日本全国各地に広まりつつあります。岐阜にも柳ヶ瀬の「やなな」が登場する中、我が加納には何も無く、以前からご当地キャラクターができればいいなという意見・要望が多くありました。

そこで、加納まちづくり会ではご当地キャラクターの平面イラストを募集し、多くの応募の中から左の作品をご当地キャラクターに選びました。

○ 名 前：
「加納 かめ姫」

○ モデル：
初代加納藩主・奥平信昌（おくだいらのぶまさ）の正室で、徳川家康の長女でもある亀姫（かめひめ）

○ モデルとした理由：
奥平信昌と亀姫は、今日まで続く加納の基礎を築いたご夫婦です。夫の信昌を支えつつ、家康の長女として周囲に影響力を及ぼしてきた亀姫は、まさに「加納の母」と言っても過言ではありません。その亀姫をもっと加納内外に広めたく、加納ご当地キャラクターのモデルとしました。

○ この平面デザインを選んだ理由：
非常に愛くるしい、亀姫の亀を連想させる亀キャップを被っている、着物の柄も帯の柄もともに加納天満宮の象徴である「梅」が描かれている、加納名産品の和傘を持っている、子供からお年寄りまで幅広い年齢層からの指示を得やすい、という各特徴から、総合的に加納のイメージにふさわしいと判断しました。

◎ 今年3月から11月までの流れ

前号（第16号・平成25年2月版）発行から半年以上もの期間が経ちましたので、今年3月から11月までの間の主な出来事について、ダイジェストでお送りします。

1. 平成25年度総会の実施

平成25年度総会は5月25日（土）、毎度おなじみの南部コミュニティセンターで開催され、以下の内容が報告・承認されました。

- ① 平成24年度事業報告 * 各詳細については省略します。
- ② 平成24年度決算報告
- ③ 平成25年度事業計画
- ④ 平成25年度予算

なお今年度の役員については、前年度の総会において、平成24・25年度の複数年で承認済みです。

2. 記念講演「黒野城と加藤貞泰公研究会の市民活動」のご報告

講師：河川耕三氏「黒野城と加藤貞泰公研究会」 副会長
郷 和彦氏「黒野城と加藤貞泰公研究会」 紙芝居部会長

本年度の総会後の記念講演会は、5年程前に発足された「黒野城と加藤貞泰公研究会」の河川耕三氏にご講演頂き、また郷 和彦氏に紙芝居を上演頂きました。両氏とも岐阜市黒野に在住で、長年黒野城を中心とした郷土史研究をされてきた方々であり、黒野城の復元を目指して日夜頑張られております。



紙芝居は、加藤貞泰が幼少の頃から始まり、家督を相続して黒野に転封・城を築いて地固めをし終えた頃に亀姫の逆鱗に触れ、伯耆国（鳥取県）米子に転封の命が下り、米子に向かうまでの間の出来事を物語風にまとめられたもので、その当時の時代の流れだけでなく、亀姫と加藤貞泰との関係もよくわかる大変興味深い内容でした。（加藤家はその後伊予国（愛媛県）大洲に転封され、明治維新まで代々続きました。）

その一言一言を、郷 和彦氏が重くずしりとくる口調で語られるのが非常に印象的でした。

紙芝居の後で、黒野城の歴史 及び 「黒野城と加藤貞泰公研究会」の活動報告について、河川耕三氏にご講演頂きました。黒野城は築城から廃城までの期間が20年にも満たない城でしたが、加納城と違って現在も本丸の土塁・堀の他、外堀、土塁の一部が残されており、毎年城を中心とした美化活動等が行なわれております。

また、地域住民による熱心な保存活動も行なわれており、手作りの看板類が数多く設置される等、郷土の歴史を尊ぶ姿勢は我が加納地区も大いに参考になった講演でした。

河川耕三さん、郷 和彦さん、ご講演と紙芝居の上演ありがとうございました！



3. 加納ご当地キャラクター募集事業のご報告

おそらく加納まちづくり会が発足して以来、最大級のイベントと言っても過言ではないと思います。今や日本全国各地で次々と誕生しつつあるご当地キャラクター。我が加納地区には今まで無く、数年前辺りから、加納地区内からご当地キャラクターができたらいなという声がちらほらありました。

そこで、当まちづくり会の起爆剤的な意味も込め、加納ご当地キャラクターの平面イラストを募集すべく役員会で4月から検討を重ねてきました。キャラクターのモデルは、奥平信昌、亀姫などの候補が挙がりましたが、夫を支えながら徳川家康の長女として周囲に影響力を発揮してきた亀姫をもっと加納内外に広めるべきとの意見により、「加納 かめ姫」としてモデルに設定しました。



加納まちづくり会 加納ご当地キャラクター募集

加納城の初代藩主・奥平信昌の奥さんである
亀姫(かめひめ)のイラスト画(全身)を募集します!!

あなたの描いたイラストが
加納のイメージキャラになる!!

募集期間 2013. 7. 15~2013. 8. 31

応募要項
コピー用紙などに手書きなどで作成し、裏面に出品票を貼付の上、下記連絡先へご郵送またはご持参下さい。パソコン等で作画の場合は、プリントアウトしてください。(パンフレットの裏面に出品票があります。コピーしてご利用ください。)
作品は各1人につき1点までです。

お問い合わせ・当ホームページをご覧ください。

〇問合せ・連絡先はこちら！
加納まちづくり会 事務局 〒500-8415 岐阜県加納市立江崎68 瑞山ビル533号
電話 050-339-0087 FAX 050-214-1937
E-mail: ni@kanderyojin.com ホームページ: http://kanderyojin.net

4月から6月にかけて(左のような)募集チラシの作成、配布先の選定や先方へのご説明を、7月から8月にかけて各賞及び賞品等の選定、作品の審査方法の検討を、それぞれ実施しました。

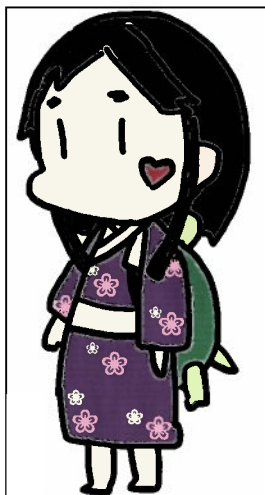
募集期間は、7月15日から8月31日とし、主に加納地区の各学校や町内に募集チラシを配布しました。

9月に入り、作品の審査を1次・2次・最終と計3回実施しました。全部で175作品の応募があり、中には東京や神戸からの応募もありました。

どれも作品のレベル・完成度が高くて甲乙つけ難く、審査は非常に難儀でした。

厳正なる審査の結果、最優秀賞1点・優秀賞2点・加納まちづくり会賞5点・入選20点を、それぞれ選定しました。そしてそれらの結果は10月に当まちづくり会のホームページで発表しました。

最優秀作品は1ページ目のイラストで、優秀賞・加納まちづくり会賞の各作品は以下の通りです(入選作品は省略)。



上段:優秀賞作品

下段:加納まちづくり会賞作品

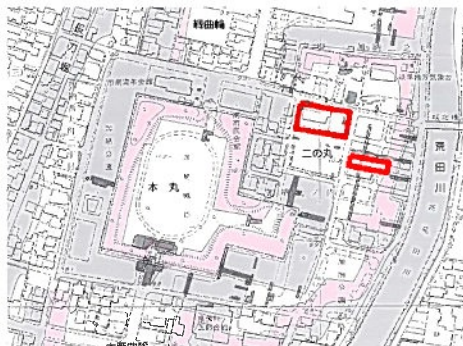


既にご存知の会員の方もおられるかと思いますが、11月9日(土)・JR岐阜駅南口広場で開催されました「第24回・美濃中山道ふるさと祭り」において、加納ご当地キャラクター「加納 かめ姫」がお披露目されました。

その本部ブースにおいて、A1サイズの「加納 かめ姫」のパネルの展示及び無料シールが配布され、来場者からは非常に好評を得ました。

4. その他の行事

- 和傘教室の開催 7月6日(土)・7日(日)の2日間、岐阜市歴史博物館において和傘教室を開催しました。
- 加納城跡発掘調査(二の丸) 平成25年度加納城跡発掘調査(二の丸)の現地説明会が9月16日(月祝)に予定され、当まちづくり会の役員が参加する予定でしたが、あいにくの台風接近により中止となりました。
- 長良川おんぱく 中山道加納宿・加納城・和傘を巡る 10月12日(土)、長良川おんぱくの一環として「中山道加納宿・加納城・和傘を巡る」ツアーを開催しました。
- 加納ご当地キャラクター表彰式 及び 歴史講演会の開催 12月1日(日)、加納天満宮の天満会館において、加納ご当地キャラクターイラスト募集の表彰式並びに記念品の授与、歴史講演会を開催しました。



 発掘箇所

◎ 先進地区の視察旅行の募集予告

今年度の視察旅行は、来年2月16日(日)に愛知県津島市への訪問を予定しております。詳細については後日お知らせ致しますので、会員の皆様は奮ってご参加下さい。

◎ 会員の皆様へ

加納まちづくり会では、会員の皆様からのご意見・ご要望・その他面白い企画やアイデアを常時募集しております。「ああしたらいいな」「ここをこう改善したら」「こんなことをしてみたい」などイメージで結構ですので、よろしくお願いします。

◎ 本誌のPDFデータについて

会員の皆様にお配りしております本誌(モノクロ版)ですが、カラー版がホームページに掲載しております。アドレスは「<http://kanou-jyo.net/>」です。ぜひご覧下さい。



問合せ・連絡先

事務局 〒500-8415 岐阜市加納中広江町68 横山ビル3階

事務局長 松尾 一 TEL090-3389-3067 FAX058-274-7197

どうぞお気軽にご連絡ください!

(発行者: 水野律子、編集者: 塚本睦、篠田哲郎)



加納まちづくり会